

# 特集

## 新潟県中越地震災害 派遣職員報告

10月23日に発生した新潟中越地震での公共土木施設、高速道路、新幹線等のインフラの被害額は、11月17日現在で1兆2千億を超え、阪神大震災以来の大災害となっております。

このような状況の中で、県内各自治体の職員も10月末より新潟県に派遣され、災害復旧支援を行っております。今回は道路、住宅、下水道の復旧支援状況について、第一陣として現場で作業をされた方々の活動の様子をご紹介します。

### 道路復旧支援の様子

境界ブロック・歩道の沈下



道路をふさぐ倒壊した建物

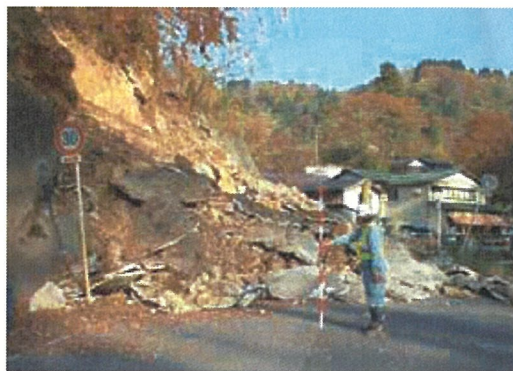


### ○業務内容

業務は「道路」（橋梁・トンネルを除く）の災害復旧（被災箇所の調査、復旧方法の検討、査定設計書の作成等）に関する事。11月1日～14日までの派遣は、北は北海道から南は長崎県までの16都道県が長岡・小千谷・小出・与板の各地域整備部および維持管理事務所での業務にあたり、岩手県派遣団は長岡地域振興局地域整備部に派遣されました。

はじめに、被災箇所を把握するため調査を割り当てられた県道8路線（約60km）を8日間かけて現地調査し、調査結果をもとに災害査定の申請箇

法面が崩壊し道路をふさぐ



家屋が地盤ごと道路へ傾く



所・範囲を決め、復旧方法の検討を行ないました。

今回の震災は被害規模が非常に大きく査定方法を通常の災害と比較して簡素化する方針も出されました。復旧図、査定設計書、目論見書の作成等の作業は中期派遣の方へと引き継がれることとなりました。

### ○中越地震の現場を見て

家屋の倒壊や多くの道路施設の被災状況はこれまで見たことのないものであり、自衛隊の仮設テントや脱線した新幹線などテレビで見た光景を目の当たりにして、今回の地震の凄まじさを感じ、万が一の大災害に対する備えについて考えさせられました。

下水道復旧支援の様子

越路町①



②



③



④



小千谷市



○現地の被災状況は？

私たちは、柏崎市、越路町、小千谷市に入りましたが、小千谷市が一番被害が大きかったようです。ただ、下水道に限ると越路町の被害が大きく感じました。液状化の影響でマンホールの浮上が多く見られました。

○現地ではどのような作業をされたのですか？

目視による路面状況やマンホールの損傷、マンホール内の滞水状況を確認しながら現地を歩きました。災害調査用紙に被災状況を記入し、ポールをセットして写真を撮りました。現地から帰ってからはそれらの資料整理に追われました。

○地元の市町村職員の様子はいかがでしたか？

皆さん役場に寝泊りしながら仕事にがんばっているようでかなり疲労されている印象でした。ただ、食べるものはひととおりに行き渡っているようで、逆におにぎりの差し入れを受けました。

○その他、今回の応援で印象に残ったことや考えたことはありますか？

情報の一元化が必要だと思いました。役場では、同じ事を何度も報告するので、多少疲れているようでしたし、本部は現地の情報をうまく整理されていないようで、作業の段取りにも支障が出ていました。

○最後に何かありますか？

岩手で同様な被害が発生したとき、実際に対応できるように対策を講じなければならないと強く感じました。

表. 災害派遣職員主な作業日程表

市町村	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日
岩手県(3名)	岩手県 出発 ⇒本部 (新潟市) 打合せ	越路町 打合せ	越路町 現地調査	越路町 資料整理	小千谷市 現地調査	帰路	
釜石市(3名)							
江刺市(2名)		和島村 資料整理	和島村 応急復旧支援	小千谷市 現地調査	帰路	小千谷市 現地調査	帰路
金ヶ崎町(1名)							
一関市(2名)		出雲崎町 現地調査	出雲崎町 現地調査	出雲崎町 資料整理	帰路	小千谷市 現地調査	帰路
川崎村(1名)							
紫波町(2名)		和板町 現地調査	与板町 現地調査	本部 資料整理	帰路	小千谷市 現地調査	帰路
山田町(1名)							
久慈市(2名)		盛岡市(6名)	帰路				
二戸市(1名)							
水沢市(2名)		帰路					
前沢町(1名)							
盛岡市(6名)		帰路					

## 特集

### 新潟県中越地震被災建築物応急危険度判定士派遣報告

#### 1. 派遣の概要

「被災建築物応急危険度判定」は、地震により被災した建築物について、その後の余震等による倒壊の危険性および落下物の危険性等を速やかに判定し、その被災建築物の使用にあたって危険性の情報を提供することにより二次的災害を防止することを目的として行うものです。

岩手県では、新潟県からの支援要請を受け、10月27日から11月9日にかけて、県、盛岡市、花巻市、一関市から、延べ24名の判定士を新潟県中越地区へ派遣し、判定業務を実施しました。

#### 2. 判定業務の内容

	第1派遣	第2派遣	第3派遣	計
派遣人数	10名	10名	4名	
派遣日程	10月28～29日	11月1～4日	11月7～8日	
派遣場所	長岡市、見附市	長岡市、越路町	越路町	
判定件数	212	469	77	758

#### 3. 被災状況

被害の大きい建築物は、建築基準法上問題のありそうな建物、配置的・構造的にバランスが悪い建物、軟弱地盤に手当てをしていない建物が多いと感じました。

個人の財産に「危険」や「注意」のステッカーを貼るのは勇気のいる判断でしたが、地元の方が我々を必要としていることが実感され、感謝されたことを励みに判定活動を実施することができました。

#### 判定状況の様子

